



# 【第3回】神戸川の潮発電所水利使用に関する調整会議 説明資料

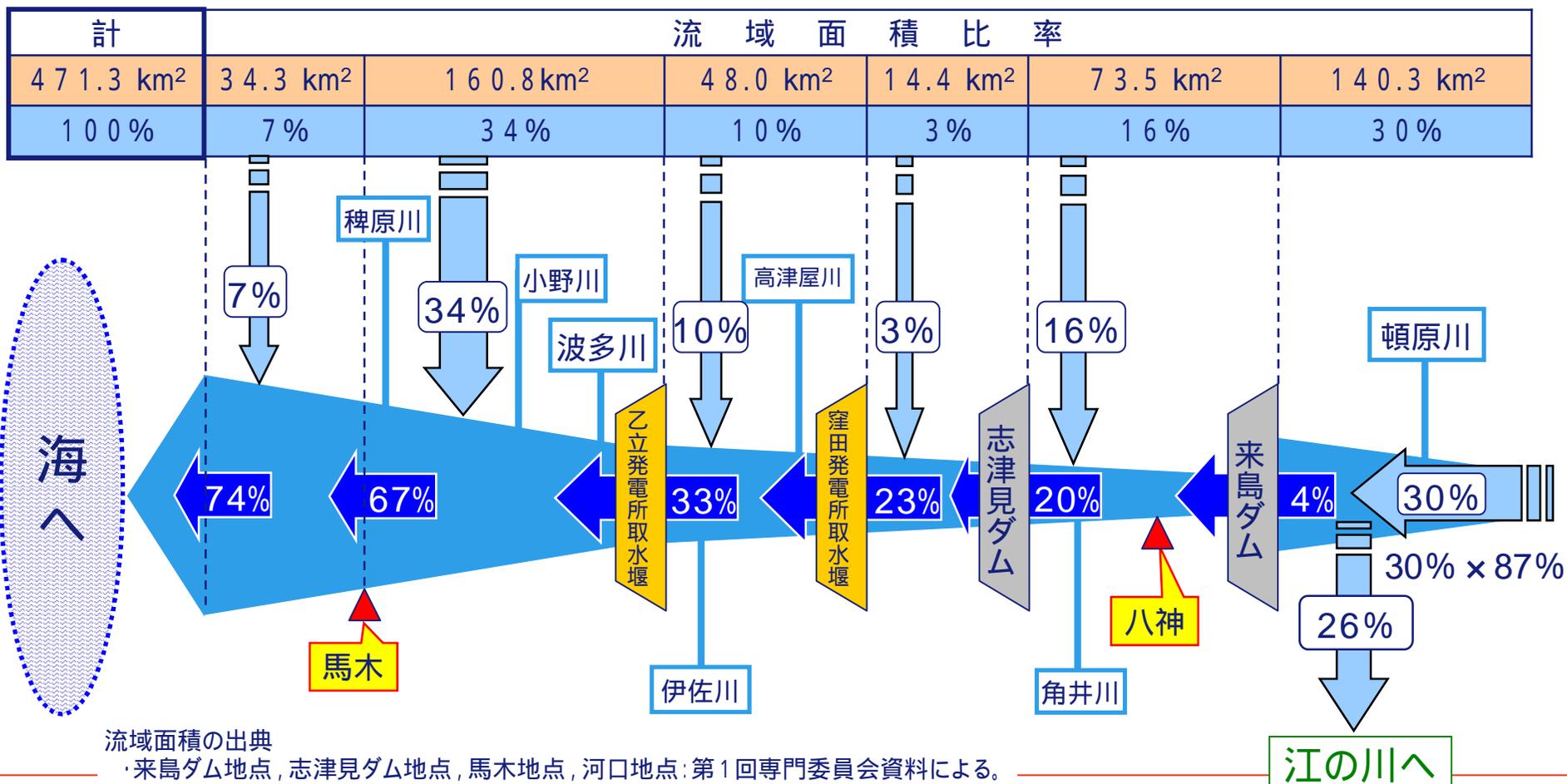
---

平成25年5月29日  
中国電力株式会社

# 1. 神戸川と来島ダムとの関係について

- 来島ダム上流の流域面積は，神戸川全体の流域面積の約30%
- 来島ダムで流入量の約87%（ ）を江の川に分水しており，分水量は，神戸川全体の流域面積の26%相当（約30%×約87%）

（ ）第1回専門委員会資料による。

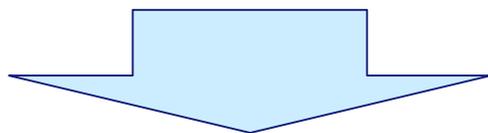


## 2. 窪田発電所・乙立発電所の減水区間における流量

### 窪田発電所・乙立発電所の減水区間

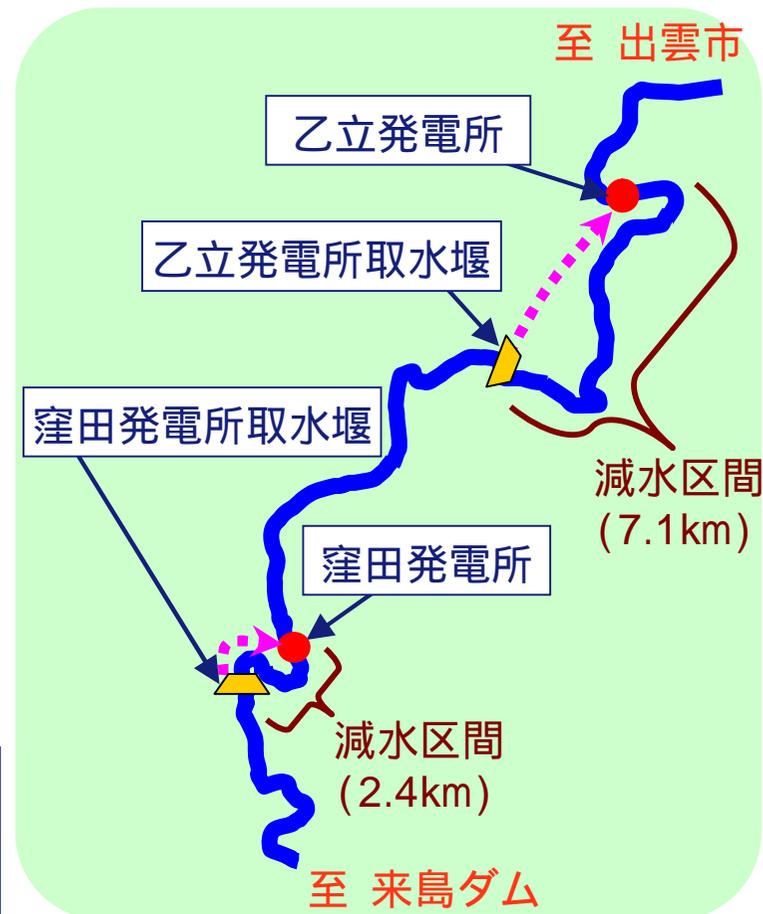
	窪田発電所	乙立発電所
志津見ダム 流況改善分 流量	0.078 m <sup>3</sup> / 秒	0.059 m <sup>3</sup> / 秒
堰越流日数	約230日 / 年	約160日 / 年

(専門委員会報告書による。)

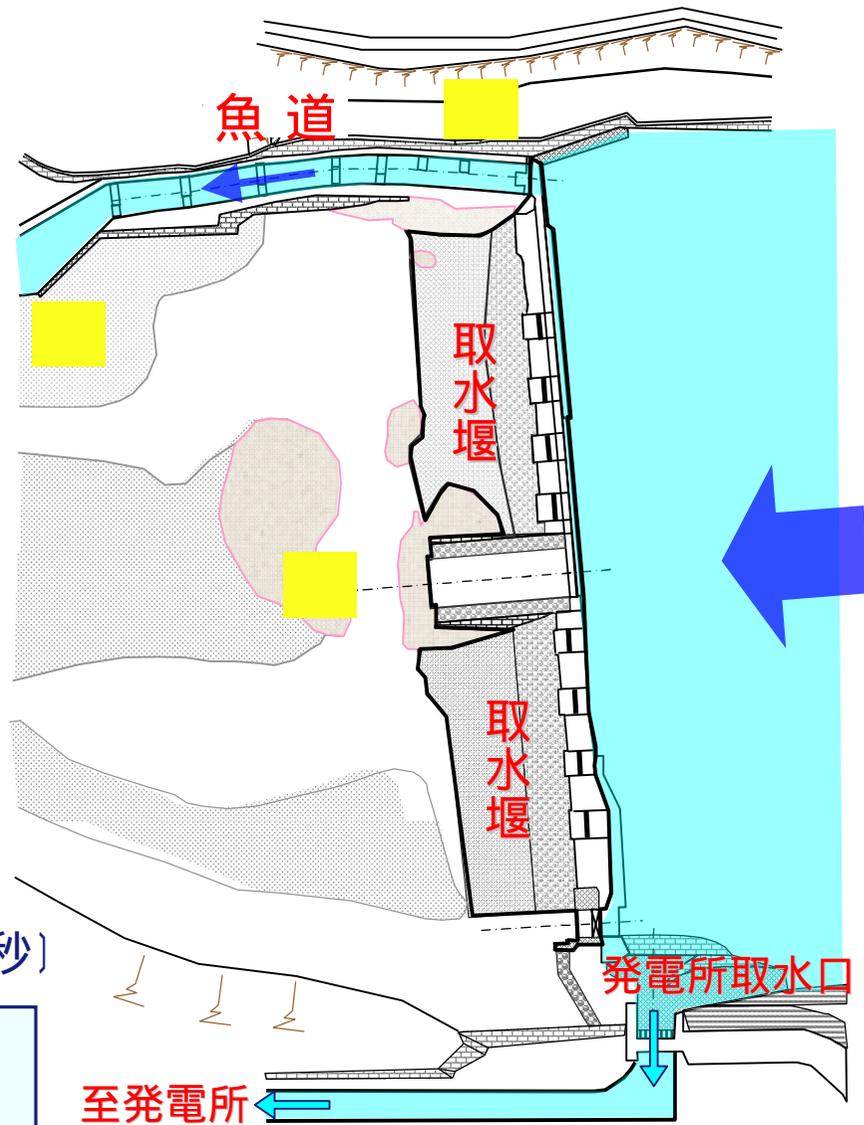


### 減水区間への対応

- 関係者と調整のうえ、すみやかに魚道流量を増加
- 来島ダムからの増放流量が決定した後、増加した水量相当分を流下



### 3. 窪田発電所取水堰魚道状況



[志津見ダムによる流況改善相当分: 0.078m<sup>3</sup>/秒]

■ ダム越流頻度 年間約 94%

(平成24年の中国電力(株)ダム水位計自記紙による。)

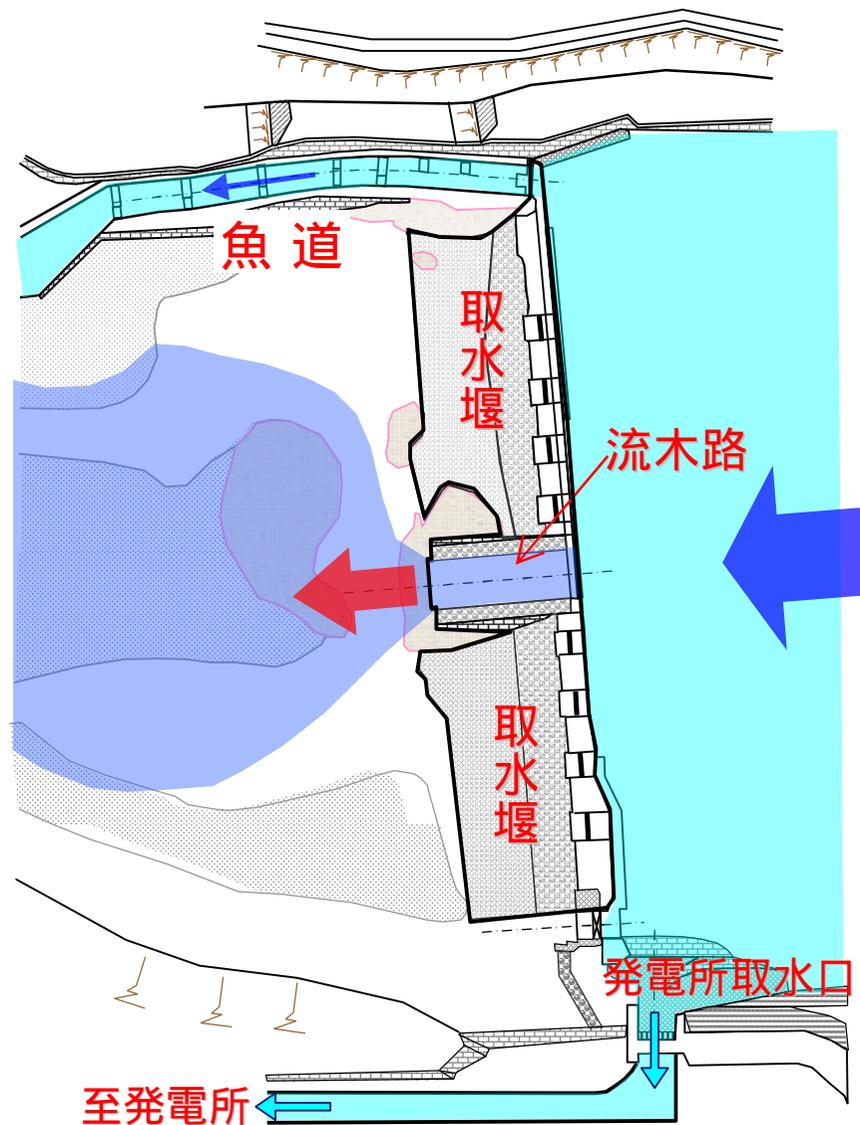
## 4. 窪田発電所減水区間への対応

### 1. 魚道流量の増加

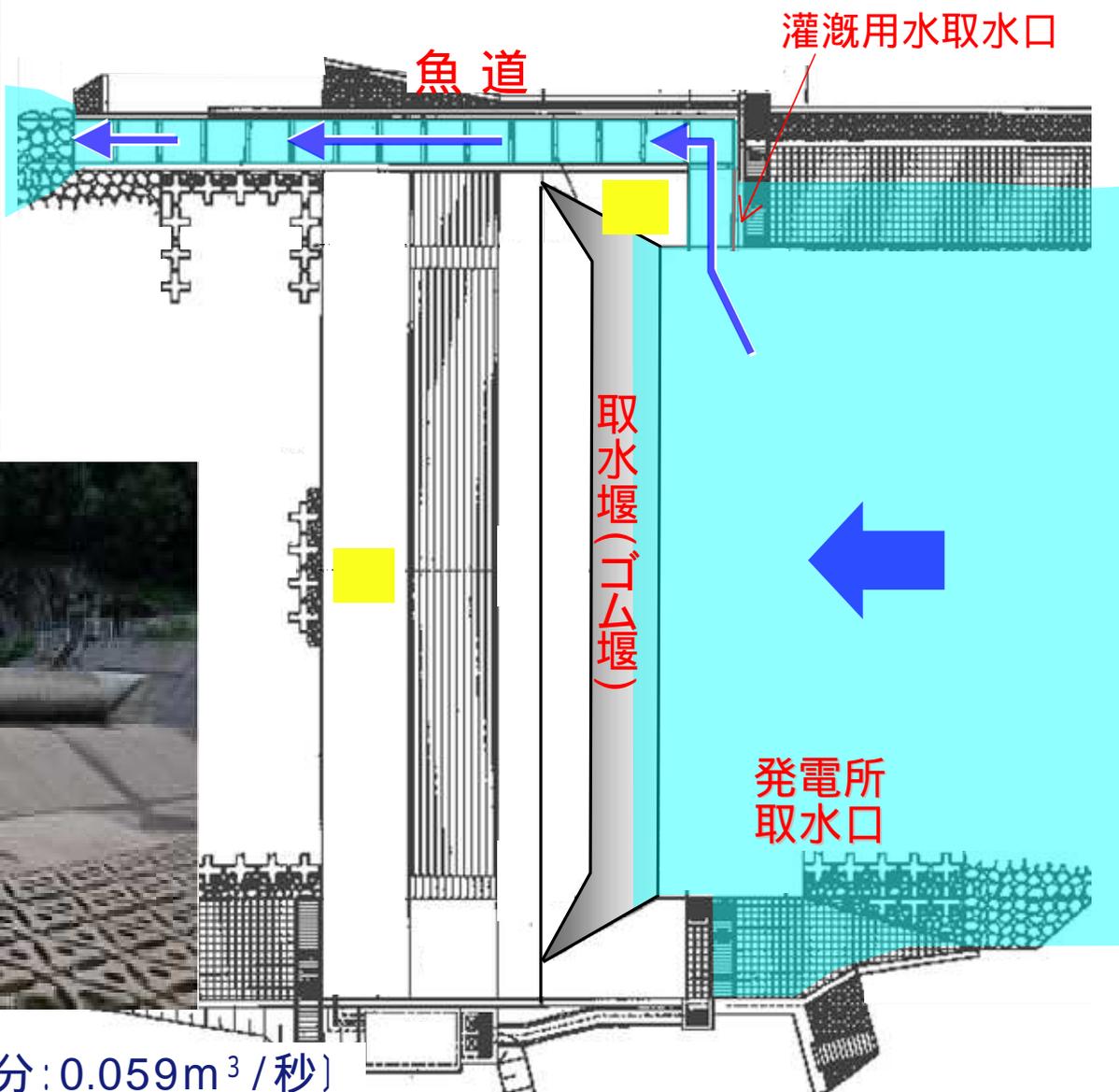
魚道の角落しの調整により、魚道の能力を最大限発揮できるように流量を増加。

### 2. 来島ダムからの増放流相当分の流下対策

増放流相当分について、魚道からの放流に加えて、取水堰中央に位置する流木路等の角落しの調整により流下させる。



# 5. 乙立発電所取水堰魚道状況



[志津見ダムによる流況改善相当分: 0.059m<sup>3</sup>/秒]

## 6. 乙立発電所減水区間への対応

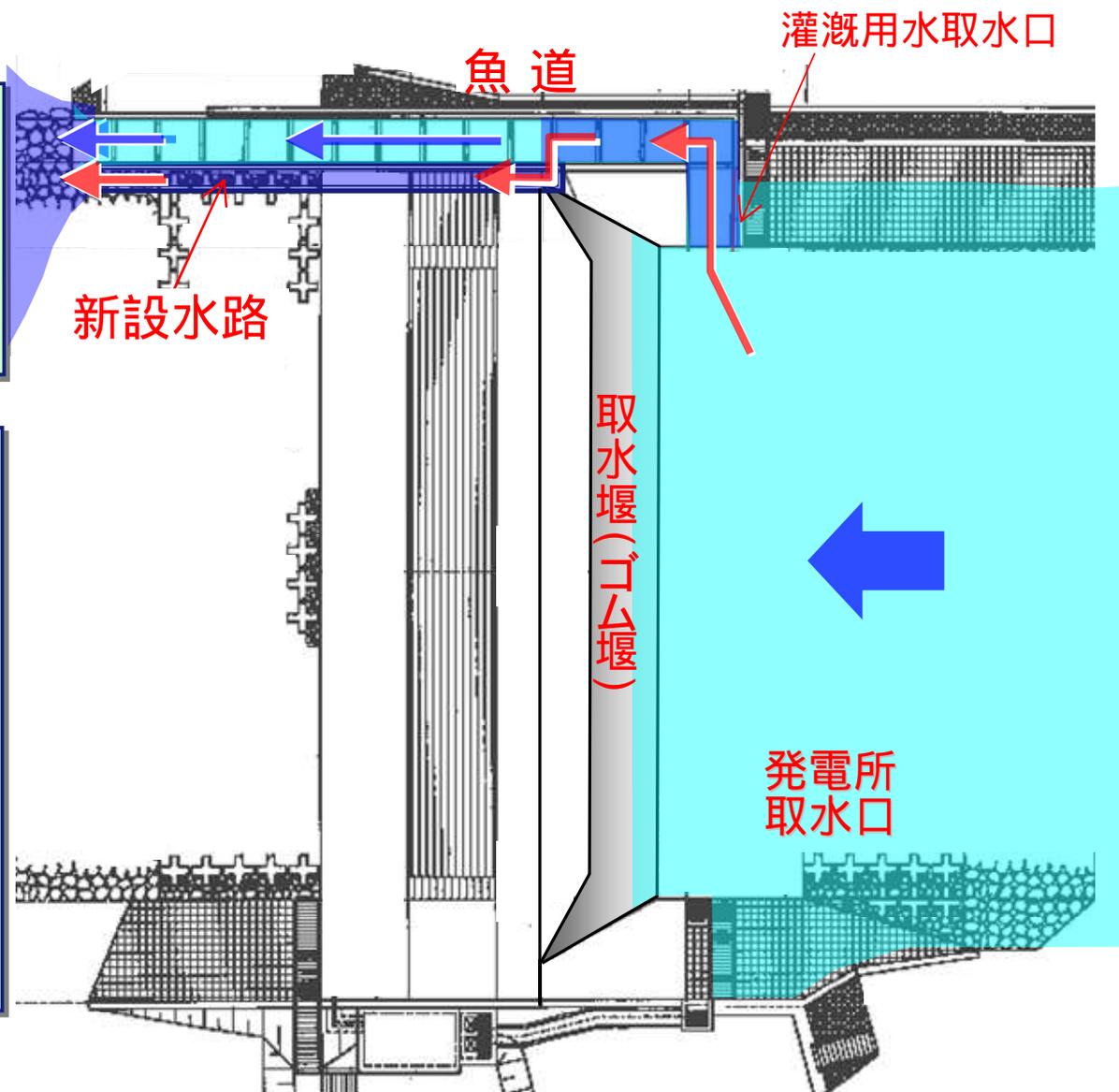
### 1. 魚道流量の増加

魚道の角落しの調整により、魚道の能力を最大限発揮できるように流量を増加。

### 2. 来島ダムからの増放流相当分の流下対策

増放流相当分について、魚道からの放流に加えて、次のいずれかの方法により流下させる。

水位調節による越流水路の新規設置



## 7. フラッシュ放流への協力について

### フラッシュ放流への協力

- 先般(4月17日)の国土交通省志津見ダムのフラッシュ放流について、以下のとおり協力をを行った。
- 今後とも、志津見ダムのフラッシュ放流への協力について、国土交通省と協議しながら、連携を取って実施する。

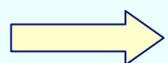
### 志津見ダムのフラッシュ放流への協力実績

#### 【フラッシュ放流の概要】

日時：平成25年4月17日 7:00～17:10

放流量：最大16m<sup>3</sup>/秒

- フラッシュ放流に伴う水位の上昇が始まる予測時間を考慮し、窪田発電所取水堰および乙立発電所取水堰において、事前に発電用の取水を停止
- フラッシュ放流水の通過が、よりスムーズになるよう乙立発電所取水堰(ゴム堰)を半分程度の高さに倒伏
- フラッシュ放流終了後、志津見ダムの貯水量回復のため来島ダムからの環境放流を増やし協力放流(志津見ダムの利水安全度を低下させないよう配慮)

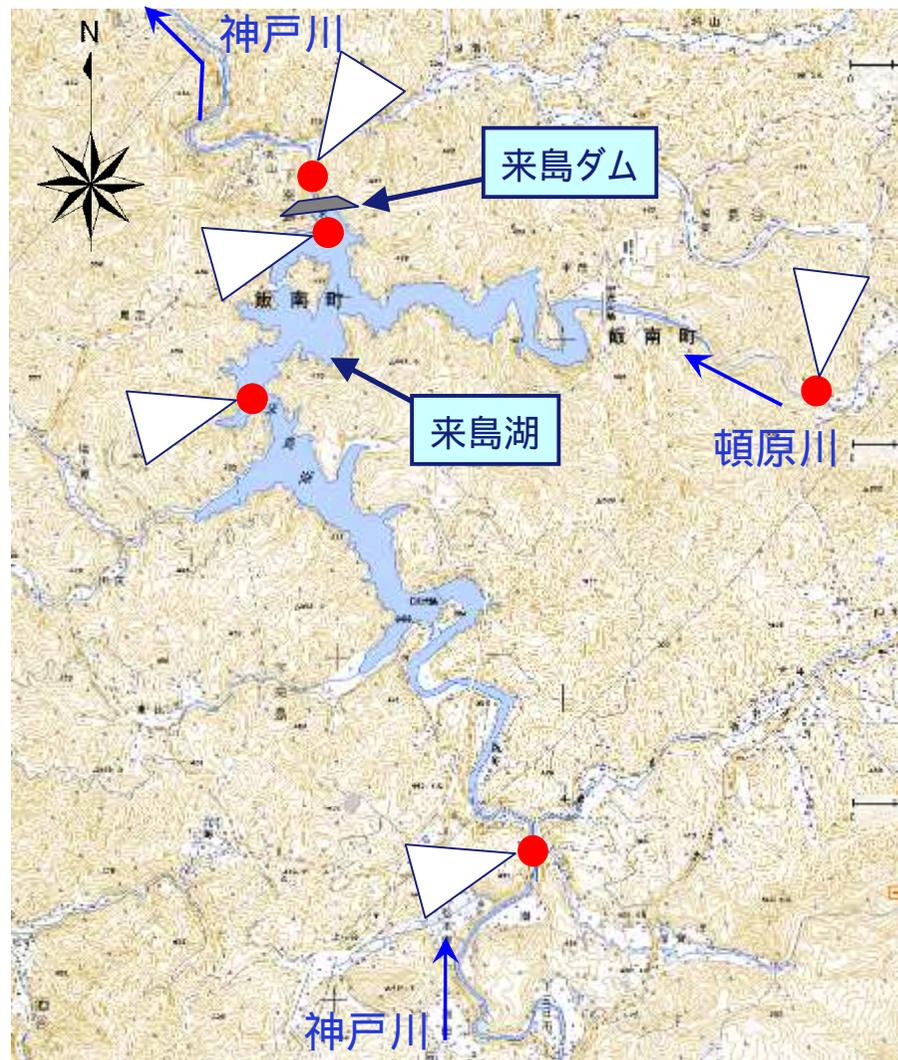


4月24日～26日(52時間)、来島ダムから37.3万m<sup>3</sup>を協力放流

## 8. 水質調査

- 昨年から、下表の地点において、「志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会」で行われているのと同じ項目について、月1回の頻度で水質調査を実施。

番号	調査位置
	流入河川(神戸川)
	流入河川(頓原川)
	取水口付近
	ダム直上流
	ダム直下流



(出所) <http://portal.cyberjapan.jp/site/mapuse2/index.html>  
(一部編集)

# 【参考】 窪田・乙立発電所の位置関係

